

《担当者名》教授 / 薄井 明 (看護福祉学部)

【概要】

対面的相互行為の構造や対人関係の構成要因、対人的影響のメカニズムなどに関して、社会学および社会心理学の観点から講義する。

薬剤師をはじめ医療職業人が患者・利用者を相手とするときに考慮しなければならない「社会性」に関して、社会学および社会心理学の知見を援用して、その基本的な観点を身につける。また、患者・利用者のセルフ・ケアを促す種々の技法の基本を身につける。

【学修目標】

敬語やエチケットの対人的な機能や意義を説明できる。

対人場面における自分の振るまい・言動の対人的な意味を自覚し、制御できる。

医療の担い手に加え、常識ある社会人として、患者・利用者に適切に対応する基本を実践できる。

患者・利用者の「ホンネ」を引き出す対人環境・対人行為の基本をデザインできる。

患者・利用者の「セルフ・ケア」を促す態度変化・行動変容の基本をデザインできる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	導入	医療職業人に求められている「社会性」と何か、調査結果をはじめ具体的事例を通して説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(3)- -1~4	薄井 明
2	対面的相互行為の構造(1)	事前に実施したアンケート結果にもとづき、対面的相互行為における振るまいの対人的意義を「神聖な自己」から説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(3)- -1~4	薄井 明
3	対面的相互行為の構造(2)	パーソナル・スペースやテリトリーの観点から「無礼・不作法」の対人的な意味を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(3)- -1~4	薄井 明
4	対面的相互行為の構造(3)	「関与」の側面から「知り合い」どうしの対面的相互行為と「見知らぬ他人」どうしの対面的相互行為の「無礼・不作法」の違いを説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(3)- -1~4	薄井 明
5	会話をめぐる諸問題(1)	「会話分析」の理論と手法を紹介し、会話という相互行為の基本的なメカニズムを説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(3)- -1~4	薄井 明
6	会話をめぐる諸問題(2)	「隣接ペア」「拡張されたシーケンス」などの概念を理解し、実際の会話の分析に応用できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(3)- -1~4	薄井 明
7	会話をめぐる諸問題(3)	「敬語」をはじめとする対人関係と言葉づかいの関係を、現代の若者言葉の意味も含めて説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(3)- -1~4	薄井 明

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
8	対人認知(1)	「帰属理論」の基本点を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(3)- -1~4	薄井 明
9	対人認知(2)	「帰属理論」の観点から、「帰属バイアス」「原因帰属と感情」「原因帰属と援助行動」などの現象を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(3)- -1~4	薄井 明
10	態度と態度変化(1)	「態度」の構造を押さえ、態度および行動が変化するメカニズムを「バランス理論」から説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(3)- -1~4	薄井 明
11	態度と態度変化(2)	「認知的不協和理論」の基本点を理解し、それを患者・利用者の行動に応用できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(3)- -1~4	薄井 明
12	態度と態度変化(3)	態度変化・行動変容における「説得的コミュニケーション」や「恐怖喚起コミュニケーション」の基本点を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(3)- -1~4	薄井 明
13	社会的影響(1)	「要請技法」の3つの基本パターン(フット・イン・ザ・ドア法、ドア・イン・ザ・フェイス法、ロー・ボール法)を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(3)- -1~4	薄井 明
14	社会的影響(2)	ミルグラムの「権威への服従」実験を通して、「服従」が起こる心理的メカニズムを説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(3)- -1~4	薄井 明
15	総括	学習の成果を確認し、今後の応用方法を概説できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(3)- -1~4	薄井 明

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

複数回の小レポート(20%) + 期末定期試験(80%)

【教科書】

特に使用しない。必要な資料は配布する。

【参考書】

安川一(編)「ゴフマン世界の再構成」世界思想社
渋谷昌三 「人と人との快適距離」日本放送協会

【学修の準備】

「対面的相互行為の構造」のテーマ終了後に中間課題を出すので、学習内容を復習すると同時に、「無礼・不作法」にまつわる現象を観察し記録・メモをとっておくこと(80分)。

「帰属理論」「バランス理論」の回で、授業内容の理解を深める自習課題を配布するので、指示に従って事前または事後に指定箇所をやっておくこと(80分)。

【関連するモデルコアカリキュラムの到達目標】

A 基本事項

(3) 信頼関係の構築

【 コミュニケーション】1~4

【薬学部ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

1. 医療人として求められる高い倫理観を持ち、法令を理解し、他者を思いやる豊かな人間性を有する。